



学校法人国学院大学の公式ホームページでは、傘下各校の行事や取り組み等を公開しています。左記の二次元コードからぜひご覧ください。

学報

News CATY

2023年11月

第154号

発行/国学院大学 北海道短期大学部 滝川市文京町3-1-1 TEL0125-23-4111 FAX0125-23-5590 広報委員長 佐野 博之

引き出しの多い 国文学科

本学の国文学科は、日本文学、伝承文学、民俗学、日本史、神道学・宗教学、漢文学、国語教育という幅広い専門分野を学べるほか、文芸創作に多くの講義があることも特色の一つです。創作の授業は3つのジャンルに分かれ、教員は「随筆、小説、詩」「児童文学」「短歌・俳句」でそれぞれのエキスパートが担当しています。

ものを書く

な機会となり、良い思い出となりました。文芸創作AとBの授業では、書くこと、お互いの作品を読み合うことを大切にしています。私は1年次の授業内で生み出される作品の数々は、どれも各々の個性が豊かに発露されたものであり、Bを受講し、併せて短歌・俳句サークルの句歌会にも所属して、一度、部員たちが互いの作品を批評し合うなどの活動を行っています。文芸創作基礎Aでは、7月に札幌で行われた「文学フリマ」において、自分たちで作った作品を売ることができ、これを嬉しく思っていました。たくさんの方に読んでもらえる貴重な機会です。

「句歌会」では週に一度、部員たちが互いの作品を批評し合うなどの活動を行っています。文芸創作基礎Aでは、7月に札幌で行われた「文学フリマ」において、自分たちで作った作品を売ることができ、これを嬉しく思っていました。たくさんの方に読んでもらえる貴重な機会です。

うまくなくていい 素直な作品を

国文学科兼任講師 文芸創作基礎・展開B(児童文学)担当 升井 純子

日本児童文学者協会北海道支部の副支部長として、児童文学の普及と執筆に追われる日々です。そんな中、学生さんとも児童文学について語り、考えたりする時間があると貴重な機会。『何をどう書くか』は、私を含め文芸人みんなの課題。だからこそ、素直な作品を書いてほしいと願っています。うまくなくていいのです。虚飾を捨て、今のあなたのままでいいのです。



升井氏の大切な3つの「あい」は「愛・合・I」

文芸に追い風が吹いている

詩歌はクラシカルじゃない、ロックだ!

国文学科教授 句歌会顧問 文芸創作展開C(短歌俳句)担当 月岡道晴

オアシスは目薬

今年も黄砂の飛来が例年より多かったようで、校舎から見える暑寒別荘やヒネシリの山々も霞んでいて、コンタクトレンズなんて着けていられないほどだった。そんな厄介な黄砂だが、遠くは「さまよえる湖」ロプノールがあるカラマツ川砂漠より飛来する。ロプノールは漢代に豊富な水を湛えていたが、四世紀に衰退してしまっ。しかし、タリム川の流路の変化によってたびたび出現し、流入した砂により埋没してしまっ。高校生ときに世界史の授業でその存在を知ったから、ラクダに乗って陽関(堀越ゼミ)と本間修司渡辺セミがそれぞれから西域南道を旅することを夢としている。昨年の日本歌人クラブ賞に引き続き、今年も黒岩剛仁氏の選考賞をいただくことができ、指導の賜物と考えます。この場を借りて御礼であり、自分のセンスに自信がもてるものであつた。藤快成



ロプノールの水面が見える張りついた砂でころつくコンタクトレンズ 齊藤快成

秋のスケッチ

11月1日、校舎前庭を散策し、「秋のスケッチ」を行いました。スケッチとはいえ、絵ではなく、文芸スケッチをします。

雨のつぶが葉を打ってポロポロ自然のパーカッション(齋藤祐希) ○イチヨウ葉を踏んだら負けよ、君が言う消えた地面を笑って探そう(西條有咲) ○吹きつける風冬のカウントダウン(三好佳彦) ○葉が落ちる前にはまはやく色あざやかに生命を主張する(北守香音) 以上国文学科1年生 ○なんと振ってもくっついてくる、雪虫のあつ片想い(福田健人) ○秋桜がみんな北向き風のせい?(近江直生) ○風に吹かれて引越すする落ち葉たち(森雪葉) 以上国文学科2年生

読んでもらう喜び体験

国文学科兼任講師 文芸創作基礎・展開A(随筆)小説詩担当 古家昌伸

一昨年まで北海道新聞で文化記事を執筆してきた経験を糧に、書業の楽しさを伝えていきました。履修生は自分のエッセイや小説を掲載した文芸誌を文芸フリマに出品、基礎2チームと展開1チームの3誌で約60部を販売しました。本編を編み、誰かに読んでもらう喜び(と怖さ)を味わう体験も文芸創作の一面です。展開では「岩橋英遠展」を鑑賞し、批評の執筆にも挑みました。



文学フリマに手応え

私たち文芸創作基礎Aの履修生は、7月に札幌で開催された文学フリマに、それまでに書いた作品をまとめた文芸誌を手にとって参加しました。創作の経験がある人、無知な人問わず、講義で学んだことを活かして作品を書き上げ、自分たちで編集・製本・販売までを担当しました。私は編集と販売に力を入れ、完成した文芸誌を購入してもらいました。

ありす座の学生たちが 手遊びや紙芝居披露

浦臼で開催のおはなしカーニバル



新型コロナウイルスの影響でしばらく中止していた今年再開されました。私たちは、参加する親子連れの皆さんが楽しんでいただけるように「手遊び」の発表を催していた方々も一緒に披露しました。今回は、今野道裕教授も腹話術の「カンちゃん」を披露し、カンちゃんとのやりとりは、子どもたちが夢中になって反応していました。ありす座以外にも、中空知地区図書館のボランティアの方による紙芝居や音楽と融合したパネルシアター、パフォーマンス・カムさんの素晴らしいマジックやジャグリングも上演されました。また布絵本や布でできたお菓子の家に触れることができる「休憩アース」が会場に設けられており、子どもも関わることでできたのも楽しい体験でした。実習とは異なる姿の子どもと触れ合う貴重な経験となり、将来保育者となるための糧になったと思います。来年もぜひ実施してほしいと感じました。(幼児・児童教育学科 幼児保育コース2年/山口校)

学生考案の飲料水販売

滝川産ひめかみりんご使用

11月9日、板垣ゼミ 学生企画ホールで学生活動の一環として、教職員を対象に滝川産ひめかみりんごを使用した飲料水販売を行いました。この販売活動は、近年問題になっているフードロス問題について考えるため、自分たちで商品企画し販売することを、どのような場面でフードロスが発生するのかを体感し、対策を考えること、また商品企画・販売することを通じて企業活動への理解を深めること(総合教養学科1年/松田勇矢)

国文学会卒業論文発表会

以下の日程で「国文学会卒業論文発表会」を行います。地域の皆さまも参加できます。参加費は無料です。日時 12月9日(土) 13時30分から会場 ホテル三浦華園

「祭研究における園田稔の存在-秩父夜祭を事例に」 小池巧絃

オープンカレッジ 氷上ワカサギ釣り入門

講師：幼児・児童教育学科教授 田中一徳 冬の風物詩でもあるワカサギ釣りを一緒に楽しみませんか！本学で講義後、砂川オアシスパークに移動し、テントの中で実践します。釣り竿、エサはこちらで用意します。日時 2月4日(日) 9:00~13:30 場所 本学、砂川オアシスパーク 受講料 3,000円 ※詳細は、お申込みいただいた方に、別途ご案内いたします。定員に達し次第、締め切ります。申込み・お問合せ コミュニティカレッジセンター TEL0125-23-4111

箱根駅伝での活躍に期待

出雲、全日本で上位入賞 国学院大学陸上競技 日に開催された出雲駅伝大会は、大学 伝は4位、第2戦11月三日大分県初戦の10月9日開催の全日本大学駅伝は3位でゴールしました。本大会の出場選手の数々が9月3日〜6日にわたって、滝川での合宿に参加しました。(今年で13回目) 合宿時に前田康弘監督は「100回記念の箱根駅伝では総合優勝を目指す」と語っておりました。



滝川合宿に参加した駅伝チーム

北海道教員試験に7名合格

試験の現役合格者を輩出した。小学校教員を養成する児童教育コースでは、小学校教員4名合格、中学校教員3名合格、国文学科兼任講師 齊藤愛唯

2024(令和6)年度 ◆小学校教員採用試験 4名合格 ◆中学校教員採用試験 3名合格